

証券コード6859

エスペック株式会社

**2014年度(2015年3月期)
第2四半期決算説明会**

2014年11月17日

www.espec.co.jp

目次

会社概要

2014年度第2四半期 決算概要

2014年度第2四半期決算 セグメント別分析

2014年度通期計画

中期経営計画 「プログレッシブ プラン2017」

参考資料

会社概要

大阪にて創業67周年 環境試験器の業界トップメーカー

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭（いしだ まさあき）
創業年月日	1947年(昭和22年)7月25日
設立年月日	1954年(昭和29年)1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,354名(連結)
事業内容	環境試験器、エナジーデバイス・半導体・FPD関連装置、 植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



本社

(2014年9月30日現在)

グローバルネットワーク

連結会社 10社
(海外6社、国内4社)

海外ネットワーク
43カ国33社

国内拠点 26カ所
国内代理店 48社

E U

△ESPEC EUROPE GmbH

- エスペック(株)
- エスペックテストシステム(株)
- エスペック九州(株)
- エスペックミック(株)
- △(株)ミックファーム大口

日 本

アジア

※愛斯佩克試験儀器（広東）有限公司
新しい生産子会社
・2013年5月設立
・2014年3月開所式



米国

- ESPEC NORTH AMERICA, INC.

- 上海愛斯佩克環境設備有限公司
- 愛斯佩克環境儀器（上海）有限公司
- 愛斯佩克試験儀器（広東）有限公司
- △愛斯佩克測試科技（上海）有限公司
- ESPEC (CHINA) LIMITED
- ESPEC KOREA CORP.
- △ESPEC SOUTH EAST ASIA SDN.BHD.

- 印・・・連結会社
- △印・・・非連結子会社

TOPICS

経済産業省 「グローバルニッチトップ企業100選」に選定



表彰状

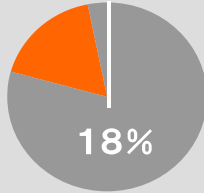
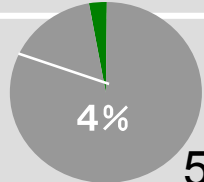
環境試験器
世界シェア 30%以上

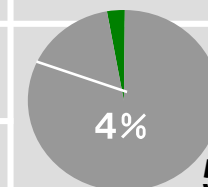
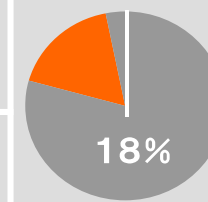
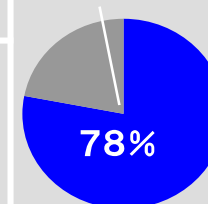


主力製品「恒温恒湿器フチナスDシリーズ」

※国際展開に優れ、日本のけん引役となる企業を支援することで
他の企業の羅針盤となり、国際競争力の向上を目指す経済産業省の取り組み

事業概要(各事業の市場／用途)

		主要製品	市場	用途	売上構成比 2014年度 2Q累計
装置事業	環境試験器	・恒温恒湿器 ・冷熱衝撃装置 ・小型環境試験器	・恒温恒湿室 ・複合試験機 ・ハストチャンバー	・電子部品、 電子機器 ・自動車 ・半導体 ・医薬品、化粧品、 食品等	・R&D ・信頼性評価 ・生産、検査
	エナジーデバイス装置	・二次電池充放電サイクル評価装置 ・二次電池電極乾燥装置 ・二次電池安全性評価装置 ・太陽電池評価装置		・次世代自動車 ・二次電池 ・パワー半導体 ・燃料電池 ・太陽電池	・R&D ・信頼性評価 ・安全性評価 ・生産
	半導体関連装置	・バーンイン装置 ・半導体評価装置 ・計測システム		・半導体 ・自動車	・生産、検査 ・開発、評価
	FPD関連装置	・枚葉式クリーンオープン ・低酸素500℃クリーンオープン		・LCD ・有機EL	・生産(アニール・ ベーク・乾燥)
サービス事業	アフターサービス エンジニアリング	・アフターサービス ・機器周辺工事		——	
	受託試験 レンタル	・受託試験 ・リセール ・機器レンタル ・校正			
その他事業	環境エンジニアリング	森づくり、水辺づくり、都市緑化			
	新規事業	植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造			



2014年度第2四半期 決算概要

決算総括

- 受注高は、すべての事業セグメントが前年同期比で増加
- 売上高は、国内市場は若干減少したが海外市場は増加し、前年同期比では微増
 - ・国内 汎用性の高い標準製品は好調に推移
カスタム製品は好調であった前年同期の水準には及ばず
 - ・海外 中国・アジアは、輸出が堅調、中国子会社は前年同期並み
欧米は、欧州への輸出と自動車市場を中心に米国子会社が好調
- 利益面は、利益率の高い標準製品が好調であったため、前年同期比で23.1%増
- 中間配当金は、期初計画どおり1株当たり7円を実施

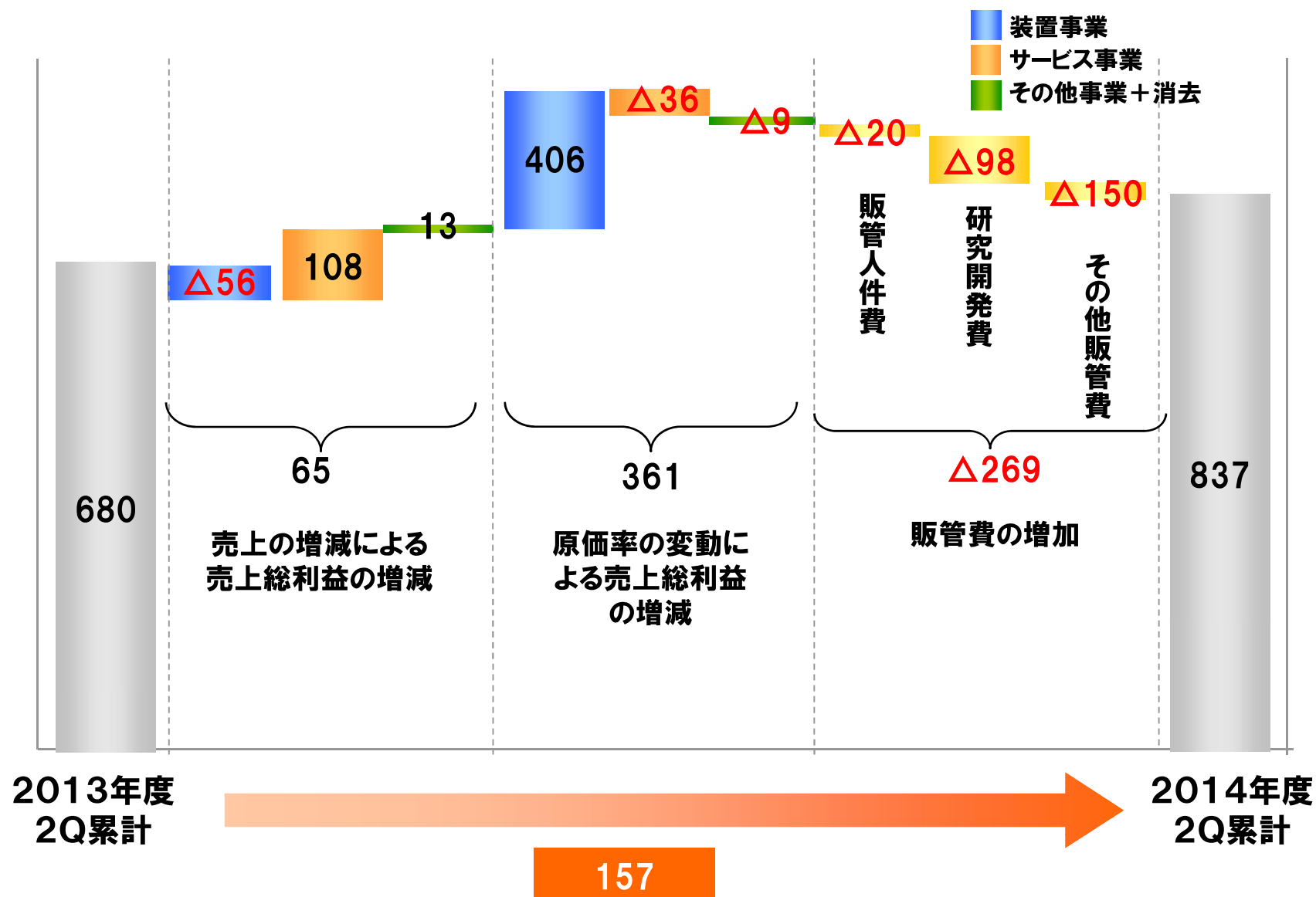
損益の状況

(百万円)

	2013年度 2Q累計	2014年度 2Q累計	前年同期比	期初計画
受注高	15,551	17,418	12.0%	16,500
売上高	14,039	14,196	1.1%	15,000
売上原価 (原価率)	9,250 (65.9%)	8,981 (63.3%)	Δ2.9% (Δ2.6pt)	9,950 (66.3%)
売上総利益	4,788	5,215	8.9%	5,050
販管費	4,108	4,377	6.6%	4,350
営業利益	680	837	23.1%	700
経常利益	811	953	17.5%	750
四半期純利益	503	590	17.2%	400

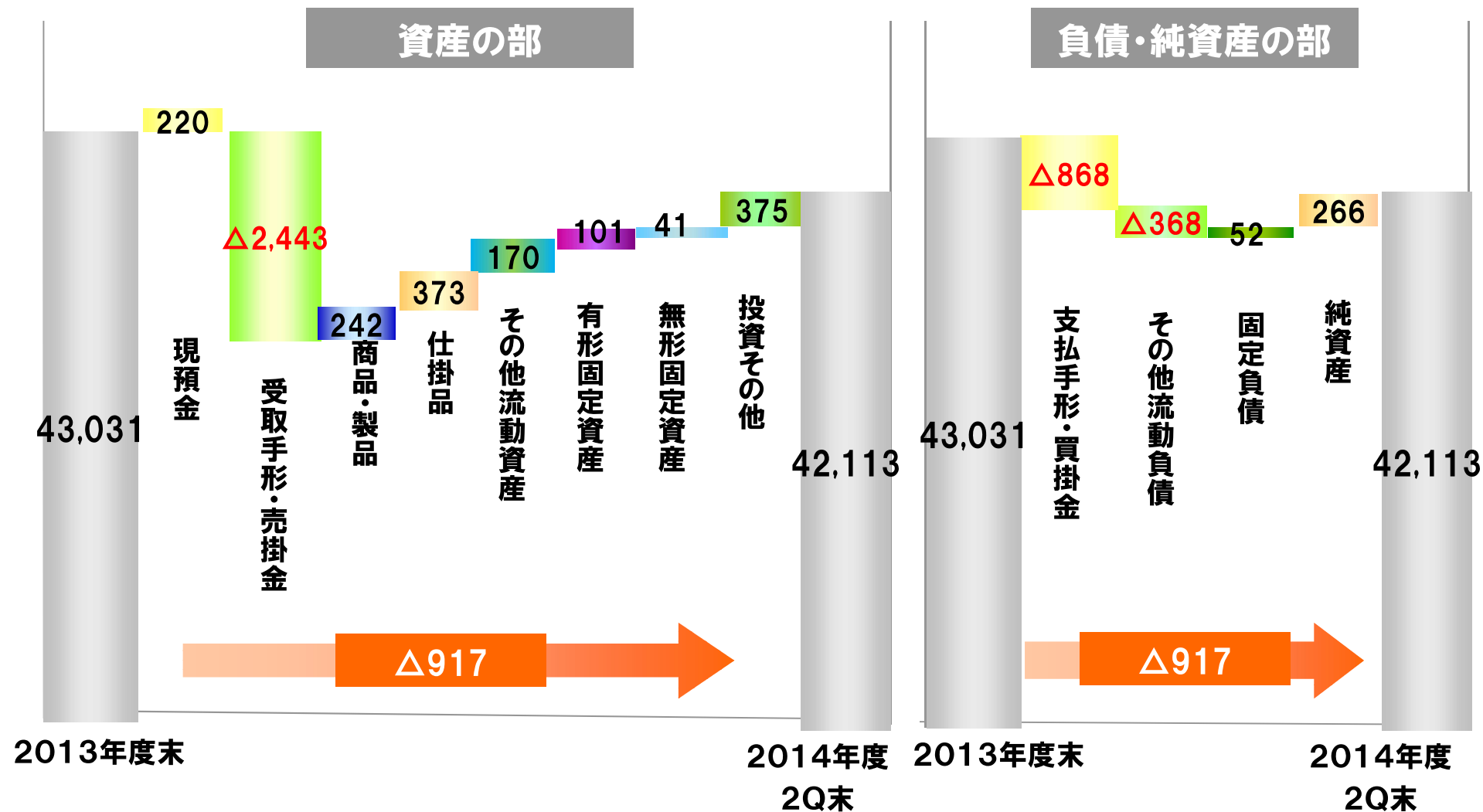
営業利益の増減要因分析

(百万円)

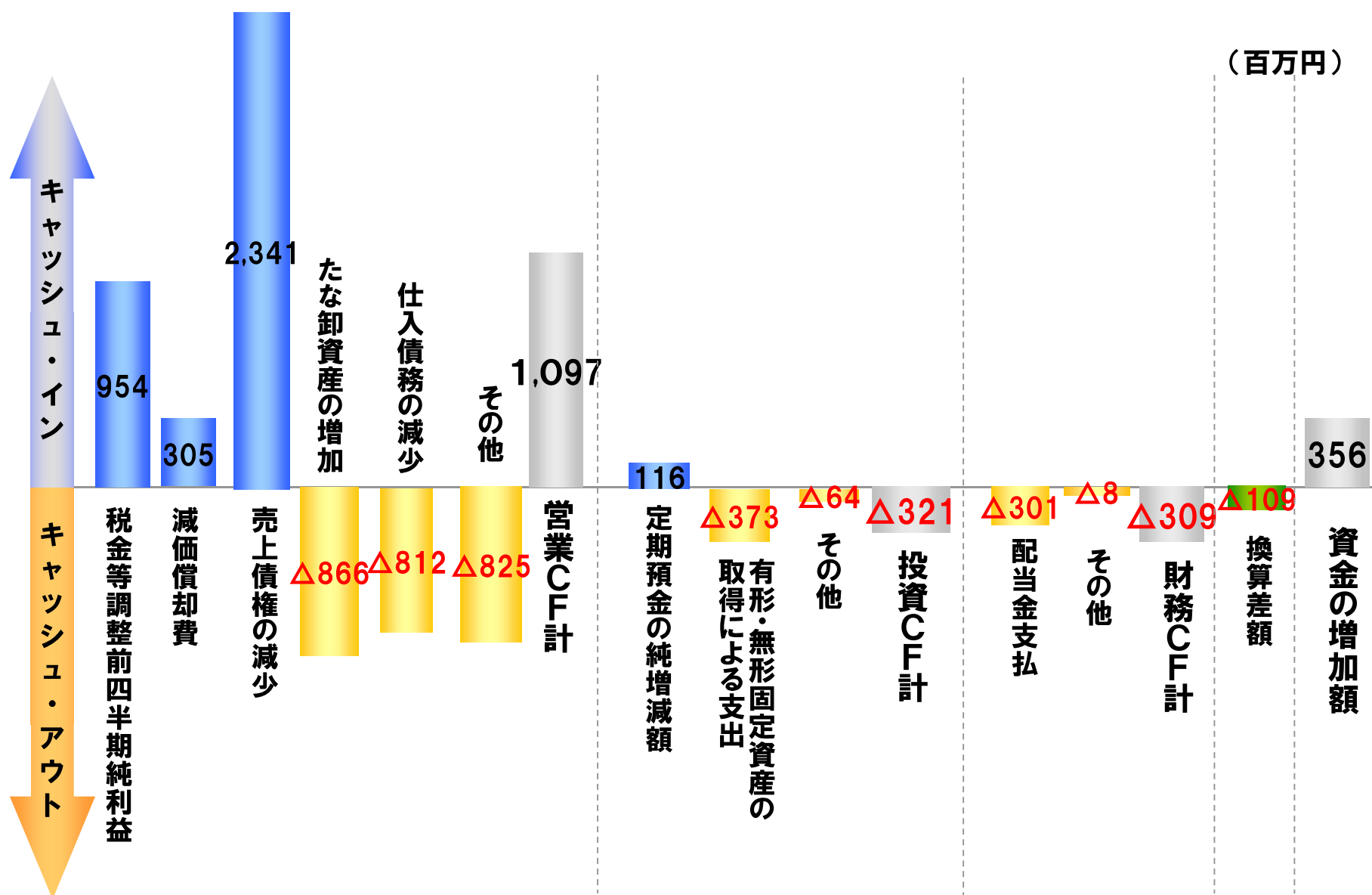


資産・負債の増減要因分析

(百万円)



キャッシュフローの状況



2014年度第2四半期決算 セグメント別分析

セグメント別の状況

		(百万円)			
セグメント		2013年度 2Q累計	2014年度 2Q累計	前年同期比	期初計画
装置事業	受注高	12,682	14,004	10.4%	13,500
	売上高	11,320	11,166	△1.4%	12,150
	営業利益	575	698	21.5%	550
サービス事業	受注高	2,493	2,860	14.7%	2,600
	売上高	2,306	2,594	12.5%	2,450
	営業利益	177	186	5.0%	200
その他事業	受注高	464	678	46.0%	500
	売上高	496	553	11.3%	500
	営業利益	△72	△47	—	△50
連結消去	受注高	△88	△124	—	△100
	売上高	△84	△118	—	△100
	営業利益	0	0	—	0
計	受注高	15,551	17,418	12.0%	16,500
	売上高	14,039	14,196	1.1%	15,000
	営業利益	680	837	23.1%	700

装置事業セグメント

環境試験器

- 国内市場の売上高は、減少
 - ・汎用性の高い標準製品は、受注高・売上高ともに前年同期を上回る
 - ・カスタム製品は、受注高は堅調だが売上高は好調であった前年同期の水準には及ばず
- 海外市場の売上高は、増加
 - ・中国への輸出は堅調、中国子会社は前年同期並み、欧州への輸出と米国子会社は好調
- 受注高・売上高ともに、増加

エナジーデバイス装置

- 車載用二次電池の充放電評価装置の受注を獲得
- パワー半導体の評価装置が堅調に推移し、受注高・売上高ともに、増加

半導体関連装置

- 特定の半導体メーカーや自動車関連メーカーからの受注があり、受注高は前年同期並み
- 売上高は好調であった前年同期の水準には及ばず

FPD関連装置

- 大型案件が少なく、受注高・売上高ともに、減少

装置事業セグメント

(百万円)

	2013年度 2Q累計	2014年度2Q累計		期初計画
			前年同期比	
受注高	12,682	14,004	10.4%	13,500
売上高	11,320	11,166	△1.4%	12,150
営業利益 [利益率(%)]	575 [5.1%]	698 [6.3%]	21.5%	550 [4.5%]

サービス事業セグメント

(百万円)

	2013年度 2Q累計	2014年度2Q累計		期初計画
			前年同期比	
受注高	2,493	2,860	14.7%	2,600
売上高	2,306	2,594	12.5%	2,450
営業利益 [利益率(%)]	177 [7.7%]	186 [7.2%]	5.0%	200 [8.2%]

アフターサービス・エンジニアリング

- 顧客の経費抑制傾向が緩和され、受注高・売上高ともに、増加

受託試験・レンタル

- 主力のテストコンサルティングにおいて自動車市場が好調に推移し、受注高・売上高ともに増加

その他事業セグメント

(百万円)

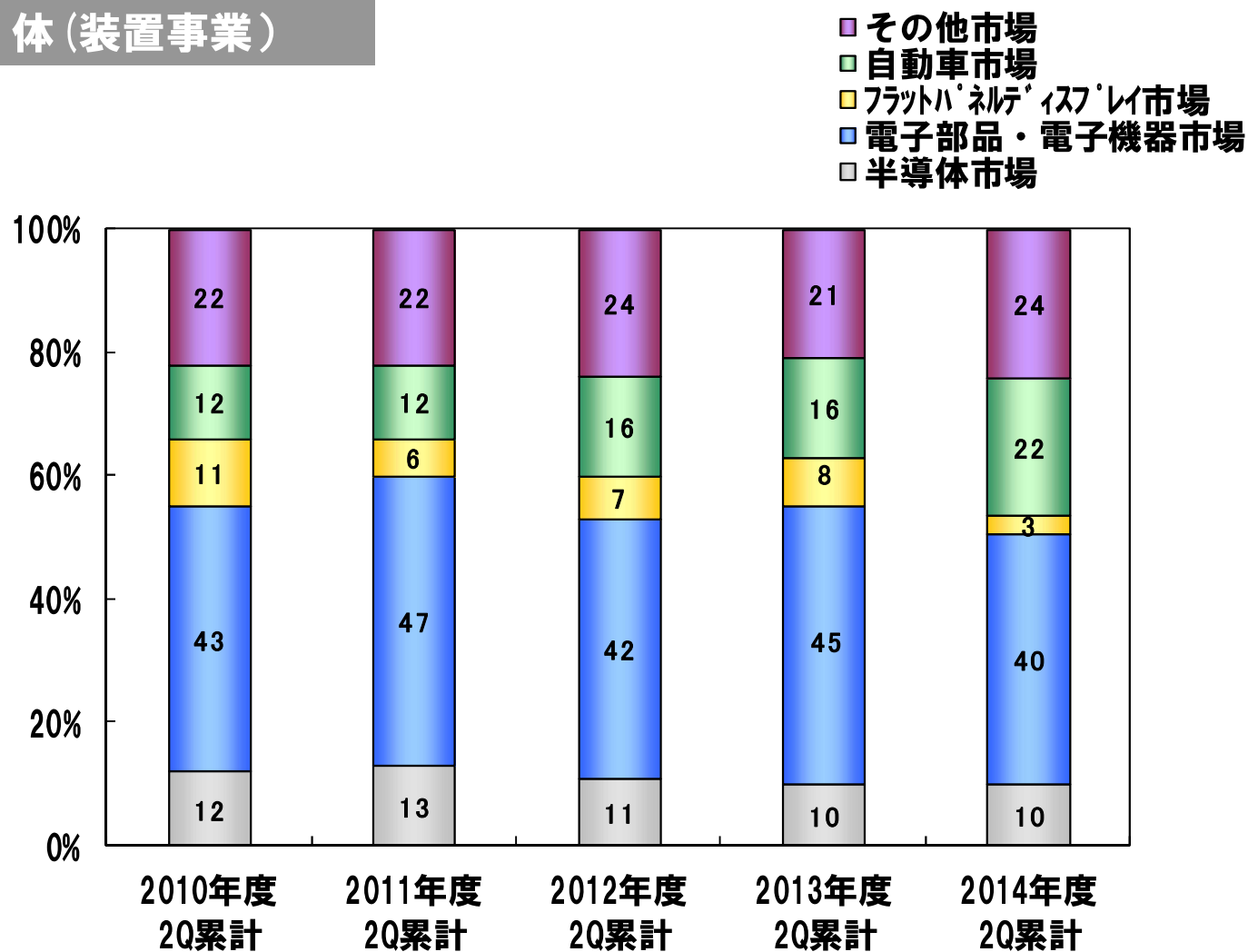
	2013年度 2Q累計	2014年度2Q累計		期初計画
			前年同期比	
受注高	464	678	46.0%	500
売上高	496	553	11.3%	500
営業利益 [利益率(%)]	△72 [△14.6%]	△47 [△8.6%]	—	△50 [△10.0%]

環境エンジニアリング・植物工場

- 環境エンジニアリングの森づくりや植物工場事業が堅調に推移
- 受注高・売上高ともに、増加

市場別売上構成比

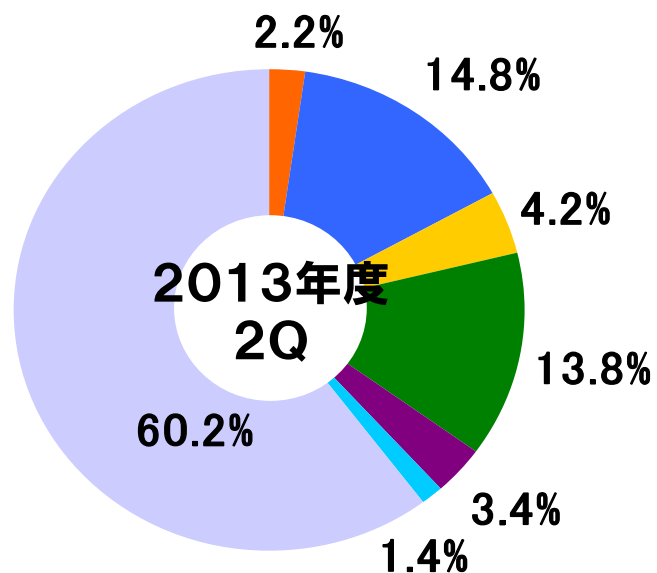
単 体 (装置事業)



地域別売上構成比

2013年度 2Q累計

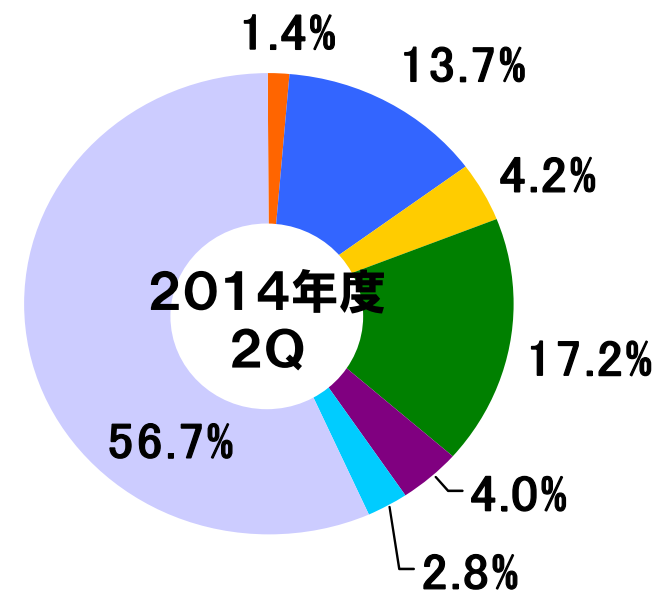
海外売上高比率:39.7%



計 14,039百万円
(海外売上高:5,580百万円)

2014年度 2Q累計

海外売上高比率:43.3%



計 14,196百万円
(海外売上高:6,142百万円)

2014年度通期計画

2014年度 通期計画

(百万円)

	2013年度	2014年度 計画				
	通期実績	修正計画				通期 (期初計画)
		上期実績	下期計画	通期計画	通期前期比	
受注高	31,760	17,418	17,582	35,000	10.2%	34,000
売上高	32,099	14,196	18,804	33,000	2.8%	33,000
売上総利益 [利益率(%)]	10,731 [33.4%]	5,215 [36.7%]	6,215 [33.1%]	11,430 [34.6%]	6.5%	11,430 [34.6%]
営業利益 [利益率(%)]	2,077 [6.5%]	837 [5.9%]	1,463 [7.8%]	2,300 [7.0%]	10.7%	2,300 [7.0%]
経常利益 [利益率(%)]	2,370 [7.4%]	953 [6.7%]	1,447 [7.7%]	2,400 [7.3%]	1.3%	2,400 [7.3%]
当期純利益 [利益率(%)]	1,570 [4.9%]	590 [4.2%]	1,010 [5.4%]	1,600 [4.8%]	1.9%	1,600 [4.8%]
設備投資額	1,115	548	652	1,200	7.6%	800
減価償却費	562	301	394	695	23.7%	695
研究開発費	951	585	625	1,210	27.2%	1,210
1株当たり純利益 (円)	67.52	25.38	43.41	68.79	1.9%	68.79

装置事業セグメント

(百万円)

	2013年度	2014年度 計画				
	通期実績	修正計画				通期 (期初計画)
		上期実績	下期計画	通期計画	通期前期比	
受注高	25,271	14,004	14,396	28,400	12.4%	27,400
売上高	25,831	11,166	15,434	26,600	3.0%	26,600
営業利益 [利益率(%)]	1,625 [6.3%]	698 [6.3%]	1,102 [7.1%]	1,800 [6.8%]	10.8%	1,800 [6.8%]

サービス事業セグメント

(百万円)

	2013年度	2014年度 計画（修正なし）			
	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画	前期比
受注高	5,288	2,860	2,540	5,400	2.1%
売上高	5,168	2,594	2,706	5,300	2.5%
営業利益 [利益率(%)]	504 [9.8%]	186 [7.2%]	314 [11.6%]	500 [9.4%]	Δ0.9%

その他事業セグメント

(百万円)

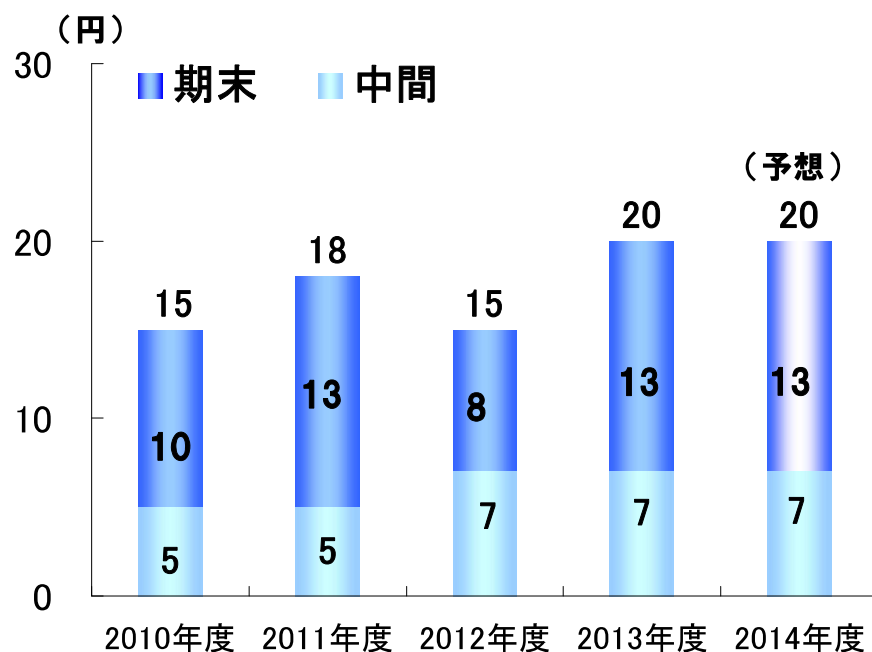
	2013年度	2014年度 計画（修正なし）			
	通期 実績	上期 実績	下期 計画	通期	
				計画	前期比
受注高	1,375	678	722	1,400	1.8%
売上高	1,267	553	747	1,300	2.6%
営業利益 [利益率(%)]	△52 [△4.1%]	△47 [△8.6%]	47 [6.3%]	0 [0.0%]	—

配当政策

配当方針

株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

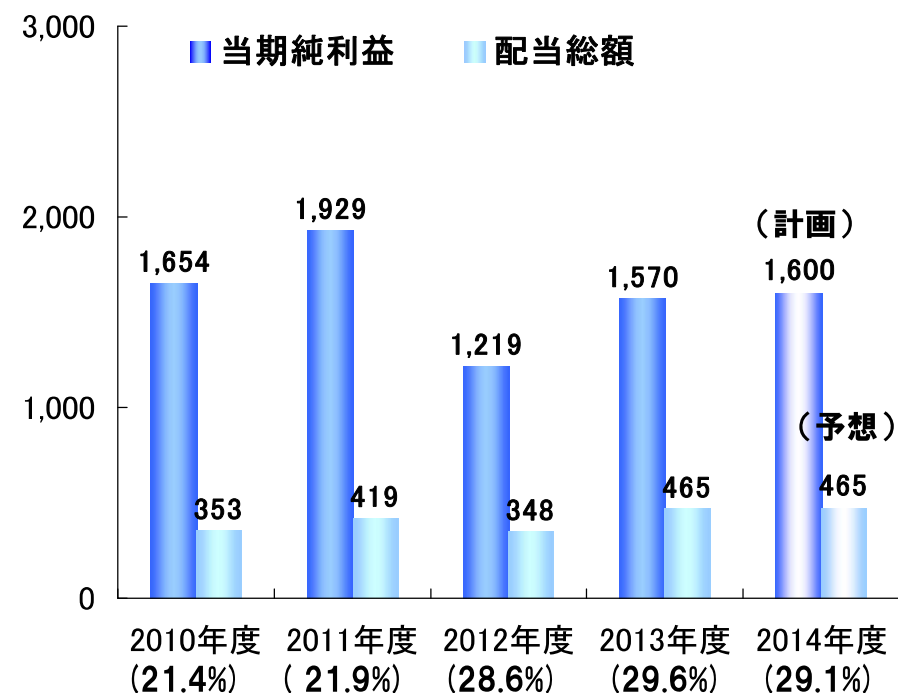
一株当たり配当金



当期純利益・配当総額

(百万円)

※ () は連結配当性向



中期経営計画
「プログレッシブ プラン2017」
計画実施期間 2014～2017年度

事業ビジョン「ESPEC VISION 2025」



当社を取り巻く経営環境

国内市場

- ・ 製造業の空洞化は減速するが国内回帰は期待できない
- ・ エコカーなど先端技術分野では積極的な投資が継続

海外市場

- ・ ASEAN諸国やインドへの開発/製造拠点のシフトが進む
- ・ アジアは世界経済をけん引

成長市場

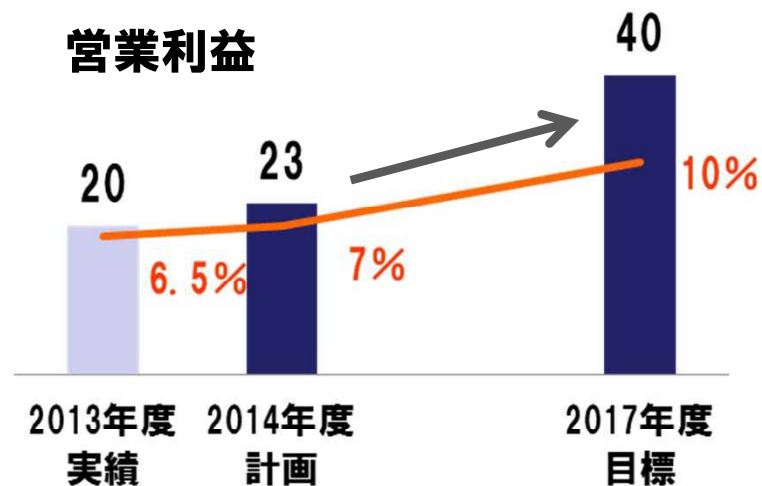
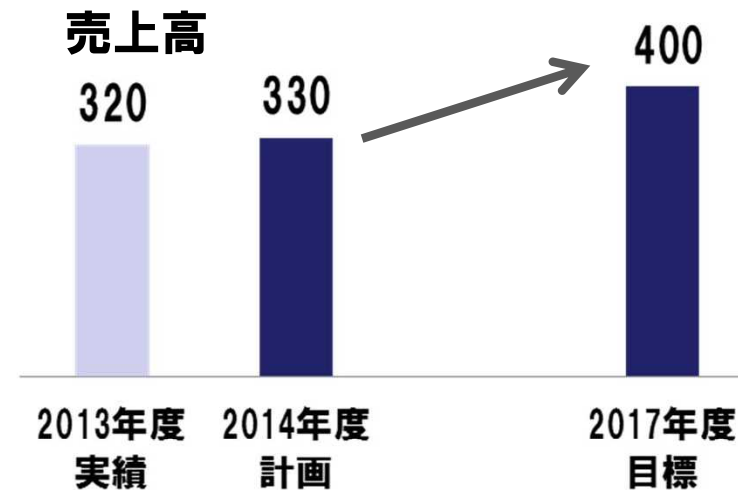
- ・ グリーンイノベーション
（エコカー、二次電池、燃料電池、パワー半導体など）
- ・ ライフイノベーション
（高度医療、医薬品、植物工場、食品など）

プログレッシブ プラン2017 (2014~2017年度)

連結業績目標

2017年度
売上高 400億円以上

2017年度
営業利益 40億円以上
営業利益率 10%以上



成長のための3つの方向性

1. 海外市場

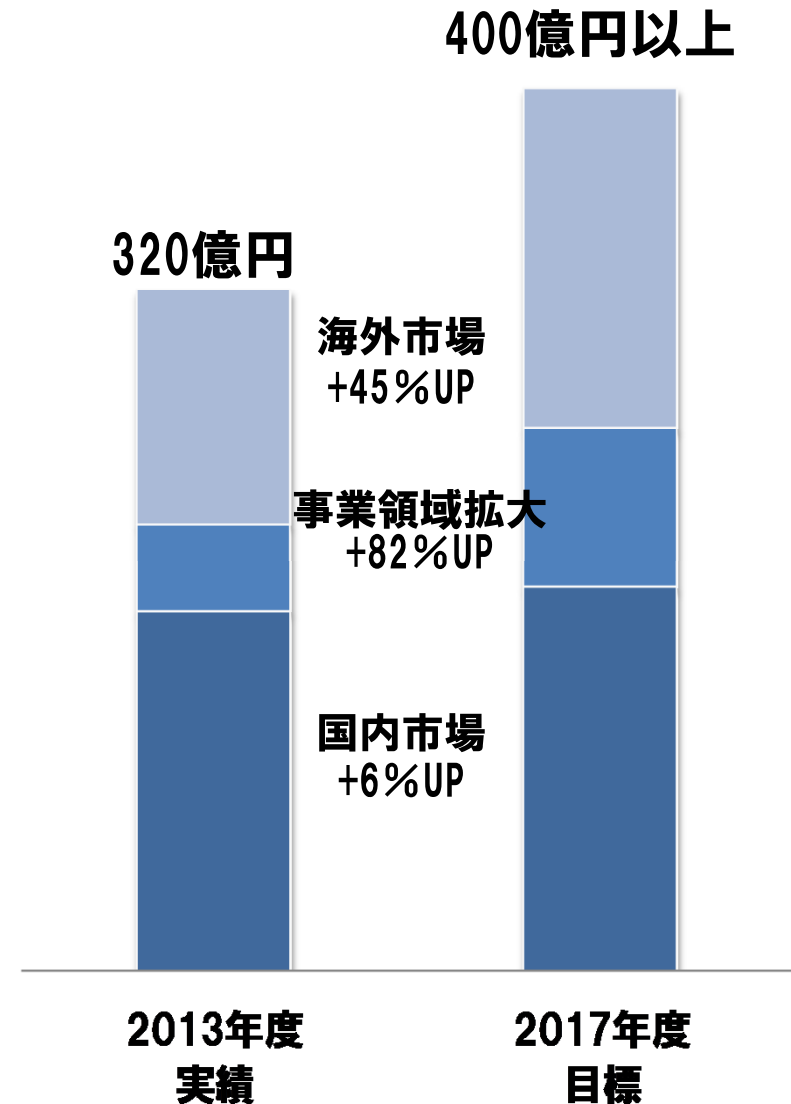
グループ連携の強化による
成長する国・地域での売上拡大

2. 事業領域拡大

成長・戦略市場を
ターゲットとした事業領域の拡大

3. 国内市場

国内環境試験事業の勝ち残り



1. 海外市場での成長

ASEAN諸国/インド



★アフターサービス拠点の充実

★受託試験所の新設

★販売拠点の新設

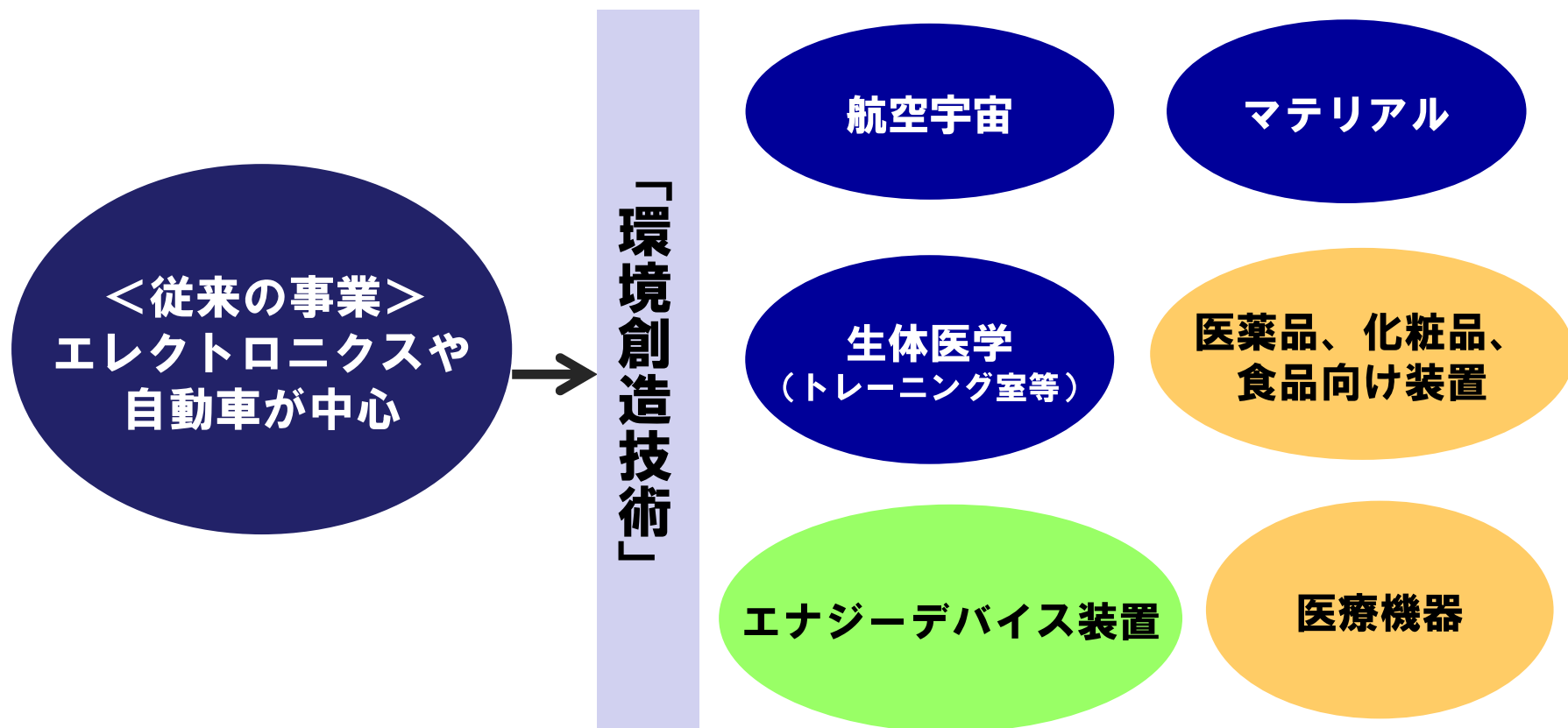
1. 海外市場での成長

中国



★エスペック広東の
生産能力増強と販売拡大

2. 事業領域の拡大



2. 事業領域の拡大

エネルギーデバイス事業

対象市場：二次電池、パワー半導体、燃料電池、太陽電池

- ・ 二次電池評価装置のラインナップ拡充
- ・ 受託試験サービスの充実
- ・ 認証サービスの開始



二次電池評価用装置



二次電池安全性試験装置

テュフズードジャパン株式会社と業務提携

当社エナジーデバイス環境試験所で、エコカー用二次電池
国連協定規則対応の試験・認証サービスをワンストップで提供

契約締結日：2014年10月10日

サービス開始日：2015年4月（予定）



調印式



エナジーデバイス環境試験所(宇都宮)

2. 事業領域の拡大

ライフ事業

対象市場：医薬品、化粧品、食品、医療機器

- ・ 医薬品向け製品・サービスの充実
- ・ 医薬品向け製品の化粧品、食品分野への展開
- ・ 医療機器の試験分野への参入



安定性試験室



安定性試験器

3. 国内 環境試験事業の勝ち残り

環境試験事業の 顧客価値の向上

独自の製品・サービスで競争力強化

- ・ ネットワークを活用したサービスなど
独自のサービスを推進
- ・ 標準製品のモデルチェンジと機種拡大



小型環境試験器



安全機構付き恒温室(カスタム)



大型冷熱衝撃装置(カスタム)

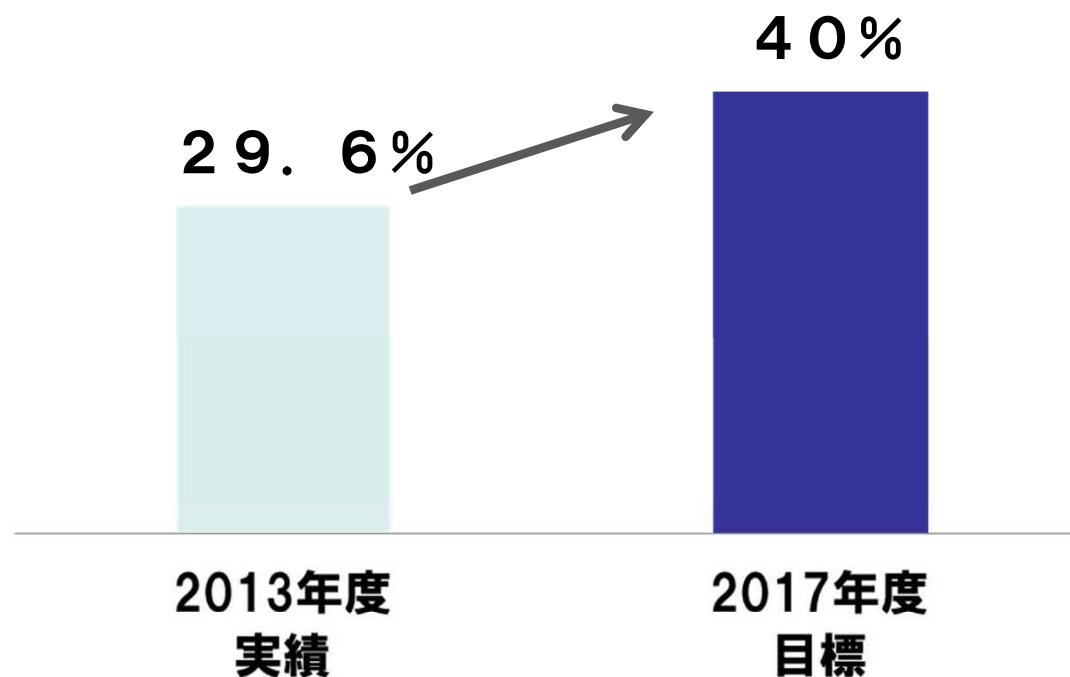
カスタムニーズへの 対応力強化

カスタム製品の対応範囲の拡大

- ・ モジュール標準化の推進
- ・ 他社との協業を強化

株主還元強化

配当性向 目標 40%



Quality is more than a word

ESPEC

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744

FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

コーポレートコミュニケーション部

**部長 西谷 淳子
IR担当 大川 奈津子**

参考資料

環境試験の沿革

環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<1950年代>

日本で民生品の環境試験がJIS規格化



<1970年代・1990年代>

「信頼性」「品質管理」が製品開発の重要なテーマとなり、電子化・電装化の加速に伴い需要が飛躍的に拡大



<現在>

二次電池や太陽電池など新エネルギー分野において需要が拡大

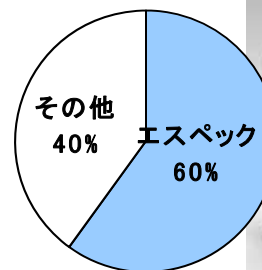


1961年 日本初の環境試験器を開発



【 低温恒温恒湿器 ルシファー 】

国内シェア No.1に



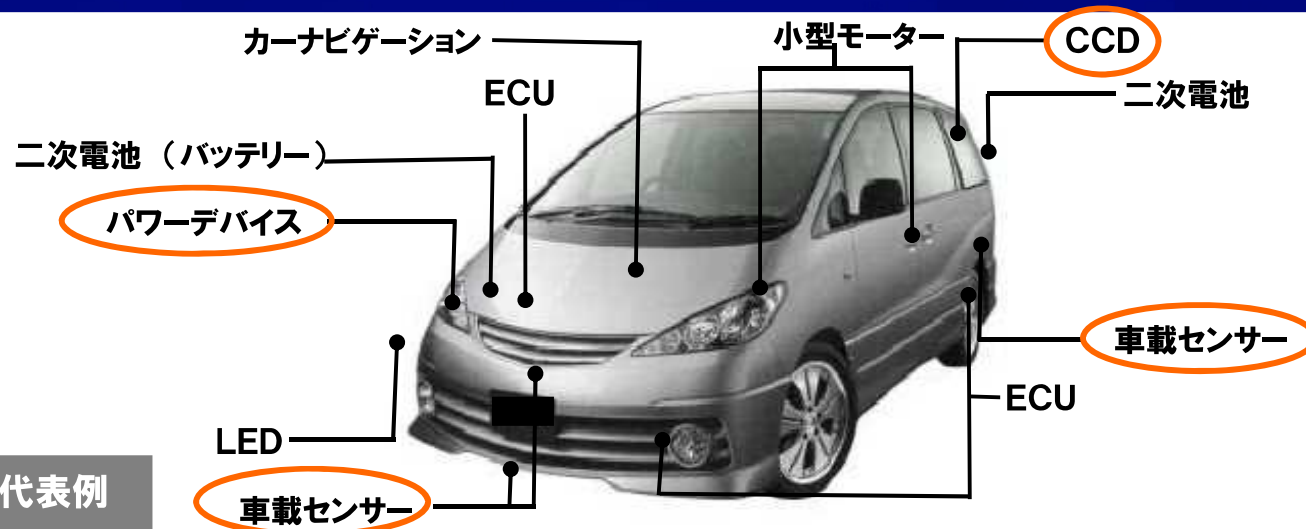
【 恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ 】

事業の変遷

環境試験器で培った 「環境創造技術」を軸に事業を拡大



【装置事業】環境試験器の用途事例



環境試験の代表例

デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}$ 、 $+85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow \text{RT} \Leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}$ 、 $-55^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
	検査	■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\%\text{rh}$ 、 $+60^{\circ}\text{C} / 90\%\text{rh}$	恒温恒湿器(プラチナス)
		■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\%\text{rh}$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$ 、 $-20^{\circ}\text{C} \Leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

【装置事業】新製品紹介

発売日	製品名	特長
2014年7月	ライトスペック恒温恒湿器	・100V／15Aで使用可
2014年7月	小型超低温恒温器ミニサブゼロ	・－85℃から＋180℃を精密制御
2014年5月	安定性試験器／安定性試験室	・計9機種をラインナップ ・国際基準に適合
2013年11月	小型環境試験器	・システムアップの行いやすさ ・ネットワークを活用した機能を拡張
2012年12月	アドバンスバッテリーテスター ラインナップを拡充	・二次電池の充放電評価システム ・試験の処理量、試験電流を高める
2012年5月	真空オーブン	・省エネ最大40％ ・カスタマイズ容易性
2012年5月	安定性試験器	・(業界初)設定温湿度への±2℃±5％保証 ・省エネ最大31％
2012年3月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ 6器種追加	・全器種をラインナップ
2011年11月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ EHタイプ	・省エネ最大50％ ・冷凍回路の信頼性向上
2011年10月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ	・省エネ最大70％、カスタマイズ容易性 ・機能の拡張性(通信ネットワークなど)

【装置事業】TOPICS

「小型環境試験器」が 2014年度グッドデザイン賞を受賞しました！

恒温恒湿器プラチナスJシリーズに続き、小型環境試験器もグッドデザイン賞を受賞しました。

ユーザーである研究者やエンジニアが身近に使える環境試験器を実現するために、コンパクトなボディに機能を実装した点や、本体装置と多彩なオプションを統一感を持ってデザインした点が評価されました。



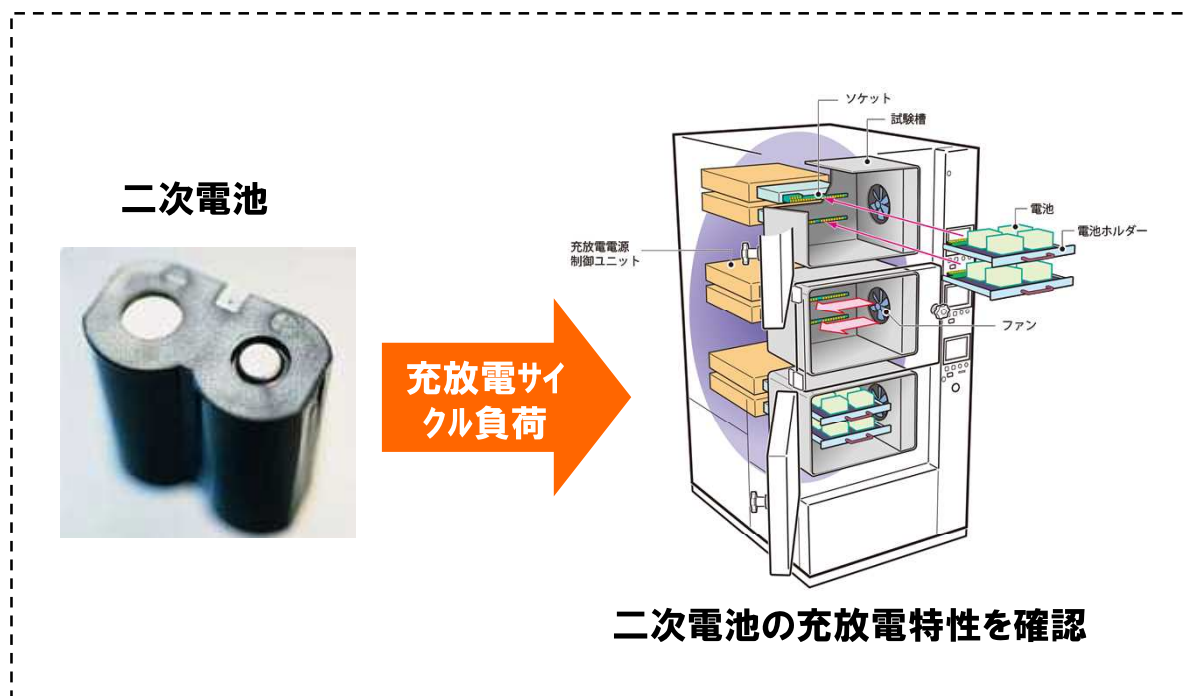
【装置事業】 エナジーデバイス装置の用途事例

充放電サイクル評価装置

ハイブリッド自動車や電気自動車など次世代自動車に用いられるリチウムイオン二次電池の信頼性や安全性を確保するための装置



充放電サイクル評価装置



二次電池の性能や寿命を評価

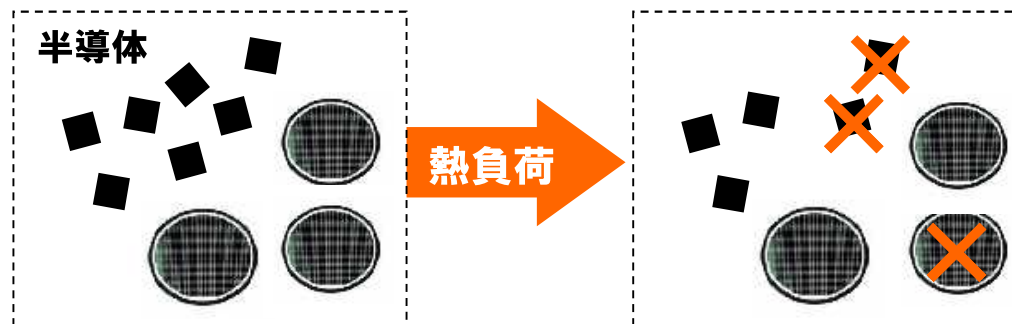
【装置事業】 半導体関連装置の用途事例

スクリーニング

半導体デバイス製造の最終検査工程において、不良品を除去し初期品質を確保



バーンインチャンバー



潜在的な初期故障を除去

信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム



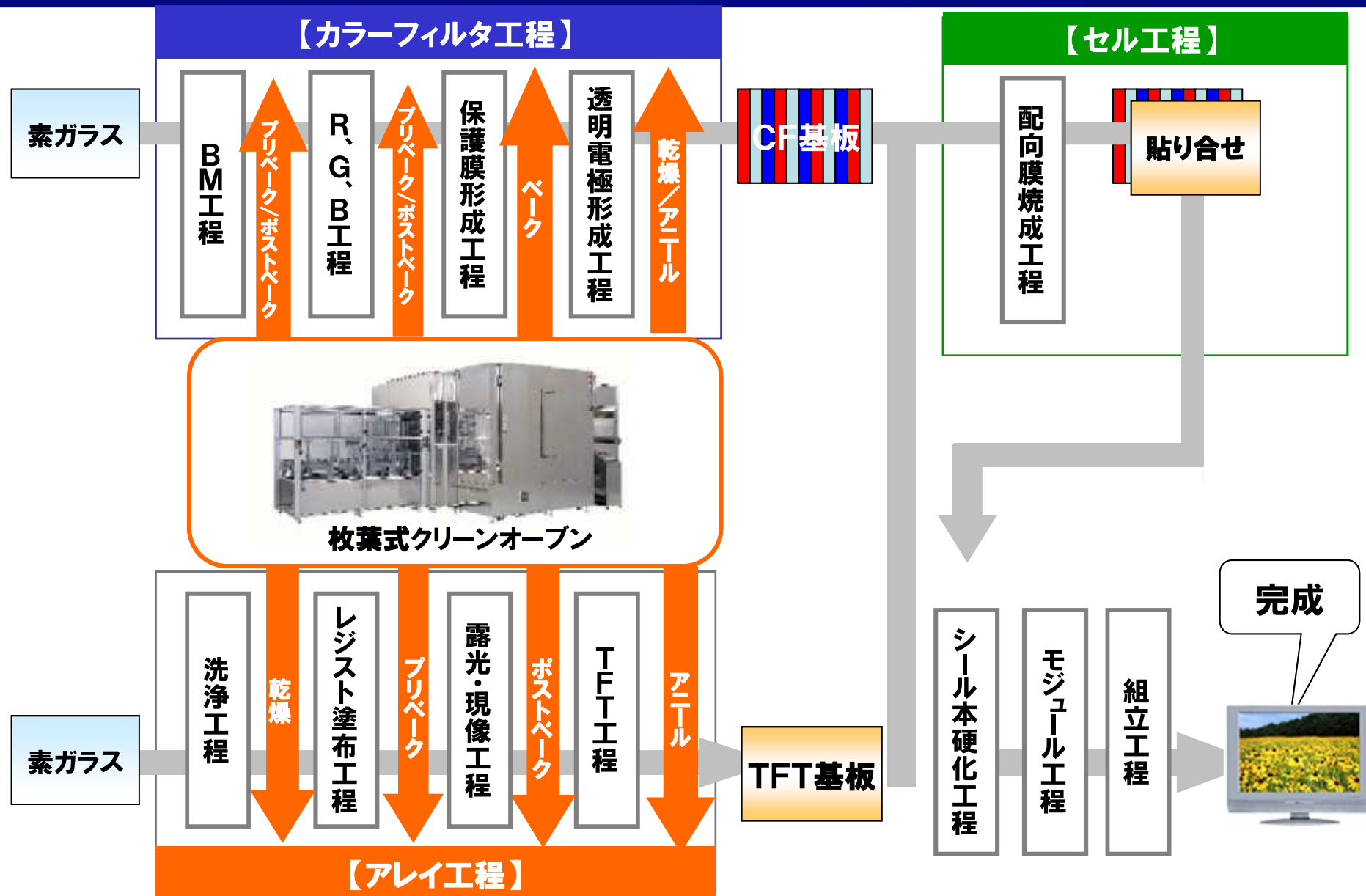
熱サイ
クル
負荷

はんだ接合部分の不良例



電子部品のはんだ接合部分の信頼性を電氣的に評価

【装置事業】 FPD関連装置の用途事例



【サービス事業】

アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内No. 1のネットワークによるスピーディな対応
- 業界初のサービス「エスペックオンラインサポート」をスタート
- 世界各国に代理店を構え、海外においても万全の体制でサポート

受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 新しい試験ニーズに随時対応
 - ・業界初「エナジーデバイス環境試験所」を新設
(二次電池・パワー半導体・太陽電池専用)
 - ・2014年10月、ドイツの第三者試験認証機関
テュフズードジャパン(株)と車載用二次電池の
安全性試験・認証サービスについて業務提携
- 全国4ヵ所に受託試験所を設置
(宇都宮・豊田・刈谷・神戸)
- ・ ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所
- ・ 計量法校正事業者認定制度(JCSS)に基づく校正機関



【エナジーデバイス環境試験所】

【サービス事業】TOPICS

業界初「エスペックオンラインサポート」を
2013年11月より開始

サービスコールは、

「お客さま」から「メーカー」へ



従来の発想を逆転

「メーカー」から「お客さま」へ



お客さま



エスペック

【サービス事業】TOPICS

自社開発した世界初の最新設備を導入 「エネルギーデバイス環境試験所」を新設

2013年11月、宇都宮試験所内に新たに開設
エネルギーデバイスの信頼性試験・安全性試験に特化した受託試験所
(エネルギーデバイス: 二次電池、パワー半導体、太陽電池)

<導入設備の例>



【外部短絡試験機】
世界初 最大電流24kAに対応



【釘刺し・圧壊試験機】
セルからパック電池まで対応

【その他事業】 環境エンジニアリング

環境エンジニアリング

■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり

■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化

■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム



植物工場事業

植物の育成に必要な光・温湿度・養分などを最適にコントロールして植物を育てる植物研究・育成システムおよび装置



コンテナ式植物工場



ファイトロン